

第11回「チーム新・湯治」セミナー

通い、滞在する居場所としての温泉地づくり

開催概要

コロナ禍が続く中で、地域で新たな滞在のカタチが生まれています。我が国の温泉や温泉地を、人に寄り添う身近な場として、より価値を高めていくには、誰に向けて、どのように活かしていけばよいでしょうか。本セミナーでは、地域での新たな視点での取組を通じて、通い、滞在する居場所・サードプレイス(※)としての温泉地の可能性をチーム員の皆さんと一緒に学び考えます。

(※)自宅や学校、職場とは別の居心地のいい第三の居場所

第11回「チーム新・湯治」セミナー

●日時：令和4年7月21日(木) 14:00～16:30

●開催形式：ハイブリット開催(東京会場+オンライン[Zoom])

※現地受付 13:30～、オンライン開始 13:45-

※東京会場：日本交通公社ビル 地下1階

(〒107-0062 東京都港区南青山二丁目7番29号(<https://www.jtb.or.jp/about/map/>))

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開催方法を変更する可能性があります。

●プログラム：以下の通り。

1. 開会挨拶

2. セミナーの趣旨説明、講師紹介

3. 令和4年度「チーム新・湯治」の活動予定

4. 【発表1】「通い湯治」文化の担い手発掘に向けた協同調査

[講師：株式会社 JTB 京都支店 事業開発室 藤本直樹氏]

令和3年度新・湯治の効果に関する協同モデル調査。京都温泉(京都府京都市)にて、都市部で生活する人が近場の温泉へ仕事帰りなどに立ち寄ることが湯治として効果的であるかを検証。

→ 発表後、
講師へ質問

5. 【発表2】現代社会における心の拠り所としての湯治場

[講師：旅館大沼 五代目湯守 大沼伸治氏]

東鳴子温泉(宮城県大崎市)にて、長年、今の時代に合わせた現代湯治に取り組む。近年においては、湯治はバカンスとの考えのもと「湯治ウィーク」を開催。環境省が実施する新・湯治モデル調査実施の受入も行っている。

→ 発表後、
講師へ質問

6. 【発表3】SHIN 湯治 現代の新しい湯治場づくり

[講師：株式会社エスアールケイ 代表取締役社長 関良則氏]

四万温泉(群馬県中之条町)に、「スパゲストハウス ルルド」を開業(令和2年)。その他、「温泉グランピング Shima Blue」や「森のカフェ KISEKI」を開業(平成29年)。様々な滞在の選択肢があるリゾート地の実現を目指す。

→ 発表後、
講師へ質問

7. 講師を交えた参加者との意見交換

8. 閉会挨拶

ご自身の活動をチーム員に お知らせ(発表)したい方へ

今回のセミナーでは、自身の活動をお知らせ(発表)したい、参加者から反応を聞いてみたいという方に発表の時間を設けます。ご希望の方は、申込フォームでご申請ください。ただし、希望人数や内容によっては、ご希望に沿えない場合がございます。何卒ご容赦ください。

講師プロフィール

ふじもとなおき

藤本直樹 氏 [株式会社 JTB 京都支店 事業開発室]

平成7年、京都市伏見区生まれ。学生時代からサステナブル・ツーリズムの実践と研究に取り組み、平成29年に京都府伊根町で都市農村交流を軸とした産学官連携プロジェクトを推進する「オランアース」を設立。グリフィス大学(Griffith University)等への留学や、持続可能な旅行会社の国際認証制度「トラベライフ」日本窓口での業務に関わるなど、国際的な視野も持ちながらサステナブル・ツーリズムの推進に取り組む。

Web ページ:株式会社 JTB 京都支店(<https://branch.jtbbwt.com/j6631-1>)

個人 Web ページ(https://www.wantedly.com/id/naoki_fujimoto_a)

京都温泉 京湯元 ハトヤ瑞鳳閣 Web ページ(<https://kyoto-hatoya.jp/>)

おおぬましんじ

大沼伸治 氏 [旅館大沼 五代目湯守]

120 年続く老舗湯治宿の五代目湯守。立教大学社会学部観光学科を卒業後、伊香保温泉の宿で修業。その後、東鳴子温泉に戻り家業を継ぐ。2003 年より農業やアートと湯治を結びつけ、現代の湯治場づくりに取り組む。2008 年に NPO 法人東鳴子ゆめ会議が地域づくり総務大臣表彰を受賞。湯をベースとしたコミュニティづくりに取り組む。また、環境省が実施する新・湯治モデル調査実施者の受入も行っている(鳴子ワカモノ湯治、テレワーク協会など)。

Web ページ:旅館大沼ホームページ(<https://www.ohnuma.co.jp/>)

温泉部ウェブページ「アフターコロナの温泉文化②湯治場は”ソーシャルオアシス”」(<https://onsenbu.net/57223>)

株式会社フューチャーセッションズウェブページ「旅館大沼の湯守・大沼伸治さん考える「居続けたくなる温泉」とは？」(<https://www.ourfutures.net/groups/173/posts/bdd2a5782cca21e5750f98d9e8de7db6>)

せきよしのり

関良則 氏 [株式会社エスアールケイ 代表取締役社長]

四万温泉「鹿視キセキノ湯 つるや」3代目社長。これまで四万温泉観光協会会長や中之条町町会議員を務める。観光協会長時代には、各旅館が連携した合同入社や「一山一家」事業の中での交流事業を通じて、従業員の定着率アップに努めるなど、新たな取り組みにチャレンジ。取組が評価され、温泉地としては、温泉総選挙2017で地方創生担当大臣賞(平成29年)を受賞。企業としては、群馬銀行ビジネスサポート大賞(平成29年)や群馬銀行ビジネスサポート大賞努力賞(令和2年)を受賞。

公式サイト:スパゲストハウス ルルド(<https://lulud.jp/>)

温泉グランピング Shima Blue(<https://shimablue.jp/>)森のカフェ KISEKI(<https://www.cafe-kiseki.net/>)

四万温泉鹿視キセキノ湯 つるや(<https://tsuruya.net/>)

参加申込の方法

-主な対象者 ①「チーム新・湯治」チーム員(構成員を含む)

②「チーム新・湯治」への参加を検討している団体の方

-お申込み方法

下記申込フォームから

お申込みください。

★申込〆切:

7月19日(火) 12:00

こちらのQRコードからも
申込フォームにアクセスできます。

東京現地会場

先着
20名



https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mj_sf:sfpcn:a2a6c02e155a2638ef2b2bfa8e8e4935

オンライン



https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mj_sf:lhmhpg:4d8476db76d8fc16fe2e83e628c371b40

-ご連絡事項

【現地会場参加】

- ご自身で検温され、平熱またはそれ以下の場合のみ会場へお越しください。
- 咳・咽頭痛等の症状がある場合は、体調を最優先していただきご参加をお控えください。
- 必ずマスクをご着用のうえお越しいただき、セミナー中も必ずご着用ください。
- アルコール消毒液を準備しておりますので、必ずご使用ください。
- 会場で体調不良であることが見受けられた方にはスタッフからお声がけのうえ、誠に申し訳ございませんがご退席をお願いする場合がございます。
- 感染症予防・対策のため席数が限られておりますので、当日参加は不可とさせていただきます。
- 行政からの指示や関係者の感染などにより、現地開催については中止のご連絡をさせていただく場合がございます。その場合はオンライン配信の視聴用 URL をご案内いたします。

【オンライン参加】

- オンライン会議システム Zoom の利用を予定しています。
- ご参加の際は、ご自身のパソコン、スマートフォン、タブレットいずれかをご用意ください。
- Zoom の使用に掛かる通信料は、参加者のご負担となります(Zoom の使用自体は無料です)。
- 参加用 URL を事前にご連絡しますので、申込締切後のご参加は不可とさせていただきます。

お問い合わせ

(公財)日本交通公社 チーム新・湯治係(後藤・守屋・磯貝・安谷)宛

[環境省 令和4年度「チーム 新・湯治」運営等実施業務 請負事業者]

【TEL】03-5770-8440 【FAX】03-5770-8359

【E-mail】shintoji-seminar@jtb.or.jp

【住所】〒107-0062 東京都港区南青山二丁目 7 番 29 号 日本交通公社ビル